



ボランティア通信 2022. 4 Vol. 248

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)
V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com
※メールアドレスが新しくなりました。
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakai.jp



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 894-3737)
(Fax 891-3340)／

「関わり」を大切に

会長 梶 記代美

今年度もコロナ禍での活動になりそうです。

人と接することを避けなければならない環境にありますが、連絡会はあえて「人と関わる」活動をしたいと考えています。ボランティアを通じて、連絡会の仲間だけではなく、いろいろな人たちと関わっていきます。

昨年度は、役員が各グループを訪問しました。また、リーダーのみの対象となりましたが、連絡会役員として出席した会議で出会った人をお招きして、講演会を開催しました。関わる中でお互いに気づいたことがたくさんあり、また新たな関わりにもつながりました。

まだまだ制限されることが多いですが、今年度も引き続き工夫しながら、できることをやっていきたいと思います。情勢に応じて形は変えつつも、私たちのボランティア活動がこれからも続けていけるよう、一緒にやっていきましょう。



ボランティアサロン

介護衣料ってどんなこと？

誰でも気軽に参加でき、ボランティアに関して、「知る、学ぶ、交流する」サロンを開催しています。

「脱ぎ着しやすい」「脱ぎ着をさせやすい」工夫をすることで、体の不自由な方や、介護をしている方の暮らしを応援しているボランティア活動があります。

手持ちの服や既製服をほどく、布を足す、ファスナーやボタンを付ける等の作業もありますよ。ほどくだけでも参加してみませんか？

実 施 要 項

と き： 6月7日（火）午前10時～12時
と こ ろ： 交野市ボランティアセンター1階
講 師： 介護衣料手作り「糸ぐるま」
内 容： 活動紹介・体験
対 象： 市内周辺在住・在勤・在学者
定 員： 10人（事前申込制）
参加費： 無 料
申しこみ先：
交野市ボランティアセンター
☎： 072-894-3737
FAX： 072-891-3340



リーダー会議 【3月22日】

-

- ・ 新年度役員選出及び顧問委嘱について承認（2頁参照）
- ・ 大阪府市町村ボランティア連絡会
　　代表者会議及び河北ブロソク交流会報告（3頁参照）
 - ・ 今後のリーダー会議について、各グループで検討を依頼
- ☆Vセンターから
 - ・ 令和4年度各グループメンバーの活動確認について
 - ・ ボランティアサロンについて
 - ・ 各グループから
 - ・ 現況報告（省略）
- ・ 4月のリーダー会議は26日（火）

間の連絡会役員・顧問が2年月のリーダー会議で承認されました。新会長に前副会長の梶さん、前会長の菊田さんが副会長に就任ということで、全役員が留任することになりました。

リーダー・サブリーダーは下表通り、各グループから報告を受けました。

コロナ禍の下、ボランティア活動もその影響を受け困難な状況が続きますが、みんなで頑張っていきましょう。



毎週火曜日にボランティアセンター1階で活動されています。体の不自由な方の衣服を機能的に着やすく改良したり、依頼カードに基づき、介護衣料の製作に取り組まれます。訪問時には、寝たきりの方のズボンを製作中。既製服のズボンをほどき、両サイドをジッパーにして、扱いやすいようにします。車いすに乗るときの肘当て、車いすに安全に乗れるように上着の丈の調整などを行なっています。訪問時には、寝たきりの方のズボンを展示する機会がなくなつたことは大変残念です。高齢者が増えていくことと思われます。「糸ぐるま」の発展を願つて訪問を終えました。



定例会は毎月第3木曜日、おもちゃづくりのために開催しています。コロナ禍以前は、お祭り・文化祭・各種行事・各施設などのイベントで、子どもたちと一緒におもちゃを作りし、一緒に交流を深めています。しかし、コロナ禍で子どもたちと一緒に作ることがなくなり、グループの皆さんを作られたおもちゃを渡し、遊び方を説明するだけになつてしましました。



1月14日(金)手話「さつき」を訪問させていただきました。

「さつき」は毎週金曜日午前、午後の二部制にてボランティアセンター2階で活動されています。当日午後の二部ではろう者（マスク着用）5名、グループの方（フェイスガード着用）6名で交互にU字型に座り、とても和やかに、また活発に手話をされました。想像以上に会話が弾み楽しい時間が経過する様子を感じられました。

ちなみにグループの方のフェイスガードは口の動きで手話の内容をより正確に伝達するために使用していること。日頃何気なくテレビなどで見ている手話ですが、それ以上に日々のコミュニケーションに使われている様子を実体験することができました。

何よりもう者の皆さんのがこの場を楽ししく活動的に利用されていること、感動し、会場を後にしました。

市町村ボランティア連絡会代表者会議開催

2月18日にZoomで開催された代表者会議は2021年度中間決算の報告後、ブロック別交流討論会となり、交野市ボランティアグループ連絡会は河北ブロック（7市）での意見交換に臨みました。

その中で新しい試みとして、訪問看護等に携わっておられる専門職の方々との交流について伝えました。

地域福祉の一翼を担っている専門職と私たちボランティアとの接点・関わりについて、先ずは互いに知り合うこと、繋がることをスタートに福祉関係者も巻き込んだ新たなボランティア活動を模索して行こうというものです。

«皆さんのご意見を»

～より良い「なかま」を目指して～

2020年4月より、機関紙「なかま」の発行を年4回としました。皆さんのご意見をいただき、「なかま」を更に充実・発展させたいと思い、アンケートをとらせて頂きます（アンケートは、7月号で実施予定）。

- ・読んでいますか
- ・内容について
- ・その他希望すること
- ・年4回発行について
- ・配付方法について
- 以上のお予定ですが、何かご希望がありましたら、広報委員・役員までお知らせください。

役職	氏名(所属グループ)
会長	梶 記代美(さつき／星の会)
副会長	菊田 広子(あい／かざぐるま) 馬場 巡(陽だまり)
書記	庄田 竜子(ふれんズ)
会計	前田 芳子(あい)
会計監査	和久田 紗子(さつき)
顧問	栗原 清美子(かざぐるま／ほほえみ／糸ぐるま) 川下 武士(虹の会)

新年度役員・リーダー・サブリーダー決まる

2022年4月から2年間の連絡会役員・顧問が2年月のリーダー会議で承認されました。新会長に前副会長の梶さん、前会長の菊田さんが副会長に就任ということで、全役員が留任することになりました。

リーダー・サブリーダーは下表通り、各グループから報告を受けました。

コロナ禍の下、ボランティア活動もその影響を受け困難な状況が続きますが、みんなで頑張っていきましょう。

グループ名	リーダー	サブリーダー	グループ名	リーダー	サブリーダー
在宅訪問 「陽だまり」	馬場 巡	志波 久子	朗読 「あい」	神原 洋子	日林 昌子 加藤 愛子
外出介助 「かざぐるま」	森本 昌子	黒田 直美	障がい者との交流 「ほほえみ」	山中 榮子	岩川 きわ
子育て広場 「アリス」	勝野 豊子	岡本 彰子	障がい者施設支援 「ふれんズ」	佃 静枝	中津川 美智恵
手話 「さつき」	中越 久美子	一戸 麗子	介護衣料手作り 「糸ぐるま」	林 志都江	島田 聖子 北川 千代子
要約筆記 「星の会」	新里 幸子	岩渕 正子	おもちゃ作りとニュース ポート・演芸 「玉手箱」	岡崎 佳世子	作本 儀藏
点訳 「虹の会」	川下 武士	長濱 ゆか 大野木 ひろ子			

お世話になっています！
社協職員のみなさん！



各務さん みなさんが「やりがい・生きがい」を持って活動できるようサポートしていきます。一緒に笑顔のあふれるボランティアセンターを作り上げていきましょう。



天場さん コロナ禍だからこそボランティアの活動方法をみなさんと一緒に考え、センターを盛り上げたいです。



吉井さん みなさんのサポートができればと思っています。センターに来られた際には気軽に声かけください。

この度、「ひまわり」からボランティアグループ連絡会を退会する申出があり、リーダー会議で承認しました。リーダーの乾口さんから退会の経緯・今後のあり方などについて寄稿いただきました。

平成14年に産声をあげ、今年20年目を迎えるところでしたが、諸般の事情が重なり、様々な方法を模索しましたが、この度、ボランティアグループ連絡会を退会する運びとなりました。

振り返りますと、いろいろな出来事が走馬燈の如く頭を駆け巡ります。訪問先で手をつなぎに行くと、最初はぎこちなかつた方が、徐々に心がほぐってきて、終わる頃には、ちゃんとグループの方のフェイスガードは口の動きで手話の内容をより正確に伝達するために使用していること。日頃何気なくテレビなどで見ている手話ですが、それ以上に日々のコミュニケーションに使われている様子を実体験することができました。

今後の「ひまわり」の方針としましては、ボランティアセンター登録団体として、今までの活動を無理せずできるような形で続けていこうと考えています。連絡会の皆様色々とお世話をになり、ありがとうございました。

笑顔で「また来てね」と涙ぐまれて感激！訪問先の方々と共に楽しい時間を持つことができ、今も考えると「ほっこり」とします。

なにかありました。

なまつ號次号発行予定 7月4日(月)